

市民フォト

ふくしま夢つうしん

2022 JULY Fukushima YUME-tsushin

福島市

49

号
2022年 7月



CONTENTS

特集

道の駅ふくしま…2

ふくしまの魅力人

道の駅ふくしま生産者協議会会長

樋口 信英さん…4

ちょうどいい旅、ふくしまステイ。

～食べてもいい～…6

インフォメーション

令和4年度第53回福島わらじまつり

第44回ふくしま花火大会…8

道の駅ふくしま内のテイクアウトショップ「フルーツファクトリー 雪うさぎ」でスイーツの考案・調理をしています。地域を盛り上げたいという思いから、近隣の産地であるフルーッラインで実る旬のくだものを積極的に使用しています。思わず手に取りたくなるような見た目、「福島らしさ」にこだわって開発した、「吾妻山の「雪うさぎ」をモチーフとしたスイーツにも注目していただきたいです。

看板メニューのフルーツパフェ、夏は福島自慢のモモを使って販売します。今後も、季節によって変わるメニューを道の駅に足を運ぶ楽しみの1つにしたいだけできるよう、メニューの開発に取り組んでいきます！



ハティシエの2人
井間 飛鳥さん (写真右)
今野 いくみさん (写真左)

スイーツで 福島の「旬」をお届け



ENJOY
楽しむ



BUY
買う



EAT
食べる



大きさによってエリア分けされたドッグランを併設しているほか、近隣巡りにおすすめな手軽で便利なE-バイクのレンタルも可能。

旬のくだものから採れたての野菜、加工食品まで盛りだくさん。園芸コーナーもおすすめ。

福島の旬を堪能できるスイーツはもちろん、フードコート・レストランではふくしまの食にこだわったパリエーション豊かなメニューが味わえる。



PLAY
子どもと遊ぶ



屋内こども遊び場

福島県産の木をふんだんに使った、開放感のある屋内こども遊び場。小学生以下のお子さんが楽しめる木製遊具や屋内砂場などがあります。

営業時間 / 10:00~16:30 (入れ替え制)
第1部 10:00~11:30
第2部 12:30~14:00
第3部 15:00~16:30

※現在、新型コロナウイルス感染拡大防止策として、各部30分前に「整理券」を配布しています。



直売所開館時間
9:00~18:00
(年中無休)
※施設により営業時間が異なります。
※臨時休業する場合がございます。



▲道の駅ふくしま
ホームページ



2022年4月27日、「道の駅ふくしま」がグランドオープン！ 毎日多くのお客さまでにぎわっています。お出かけ前にぜひ本誌でチェックしてみてください。

施設本体は「古閑裕而のまち」らしいピアノをイメージ。県産材をふんだんに使っています。直売所一番の推しは、「くだもの宝箱ふくしま」の果物です。夏は、早生種から晩生種まで種類も豊富に楽しめるモモ！さらにナシ、ブドウ、リンゴと続きます。他にもスイーツや加工品、お惣菜に加え、常磐ものの海産物、全国新酒鑑評会金賞獲得数日本一9連覇を果たした日本酒も各種取り揃えています。加えて雄大な吾妻連峰を大窓から望むレストラン、木の香りも清々しい屋内こども遊び場、無料ドッグランなど、大人も子どもも大満足で過ごせます。

東北中央自動車道の福島大笹生インターチェンジに隣接し、集客・交流、情報発信、産業振興の拠点として、さらにはさまざまな主体との共創による地域振興に大きな期待が寄せられています。これからの展開にご期待ください。



道の駅ふくしま周辺の観光をさらに充実できるアプリ！

周遊手形「縁」

道の駅ふくしまのイベント情報やお得なクーポン、周辺施設情報などを配信します。

道の駅ふくしまの施設を利用すると、クーポンに交換できるポイントがたまる会員証機能、周辺観光スポットをつなぐスタンプラリー機能など、素敵な機能が満載！お越しになる際にはぜひ、ダウンロードしてみてください。



▲iOS端末



▲Android端末

みりよくびと

魅

Nobuei Higuchi



福島市の北西部、大笹生地区にお住まいの樋口信英さんは、会社員を続けながら両親が営む水稲、イチゴ、ニラ、キュウリ栽培を支えてきました。定年退職を機に家業を継いだ今は、モモとナシを中心に野菜や米づくりにも精を出されています。さらに今年には、自宅から車で約2分の場所にオープンした「道の駅ふくしま」の生産者協議会会長を引き受けられました。「鮮度抜群の果物と野菜をお客さまに届けられる」と、胸を弾ませる樋口さんに、作っている果樹の話や道の駅ふくしまに寄せる思いなどを伺いました。

道の駅ふくしま生産者協議会会長・果樹農家

樋口 信英さん

1953年、福島市に生まれる。高校卒業後、家業である農業に従事。32歳から会社員。以後、週末や繁忙期に両親を手伝いながら定年まで勤める。65歳から農業に専念。モモ20アール、ナシ38アール、水稲を栽培。道の駅ふくしま生産者協議会初代会長。大笹生地区の羽根山に鎮座する塩竈神社の総代長として現在3期目も務める。



定年退職を機に農業に専念
自宅から道の駅まで車で約2分
鮮度抜群の果物と野菜を届けます



美味しいモモ、ナシを作るために行う摘果も重要な作業の一つ

ム、北八反田川などがあり、ミネラル豊富な水をたっぷり享受できることも要因の一つと感じているとのこと。明治時代は、大笹生地区のほぼ全世帯が農家だったそう。代々受け継がれ、アップグレードされた農業が息づくエリアと言えるようです。

夏はモモ！7月に初出荷予定の 早生種「はつひめ」をお見逃しなく

果樹農家として樋口さんは、収穫期の早い順に「はつひめ」「あかつき」「まどか」の3種類のモモと、「幸水」「豊水」「王秋」「かおり」や人気上昇中の「秋月」など、約8種類のナシを作っています。さらに今年には、道の駅ふくしまへの農産物出荷者で構

め」の出荷です。

「モモのシーズンの到来を告げる早生種の中でも、おいしい品種を出荷したいと思って植えました。収穫は6月末から7月上旬くらい。昨年、食べたら糖度が高くて、みずみずしくて、おいしかったので、これはイケると思いました。初出荷なので数が見つけないのですが、売り場で見つけたらぜひ、食べてみてください。」

鮮度抜群の野菜と果物と絶景 道の駅を拠点につなぐ！広がれ！

道の駅ふくしまから車で約4分。果樹栽培や稲作が中心ののどかな風景が広がる大笹生周辺エリアには、

土壌の良さと豊かな水がもたらす 種類豊富な果物が大笹生の自慢



福島市のモモ。早生種「はつひめ」「曉星」に次いで「あかつき」「まどか」と、9月まで途切れることなく続きます

福島市は、種類豊富な果物が折り紙付きの品質で楽しめる「くだもの宝石箱」です。樋口さんが生まれた育った大笹生地区も代表的な生産地の一つです。地域の特長を尋ねると、こう話してくださいました。
「サクランボ、モモ、ナシ、ブドウ、リンゴと作っている果物の種類が豊富で、初夏から初冬まで途切れることなく楽しめる場所です。市内でもこんなに種類が揃う地域ってないんじゃないのかな。おいしく育つ理由としては、粘土質の土壌に加えて、水の恩恵もあるんじゃないかと思っています」。

樋口さんが総代長を務める塩竈神社があります。信達平野全域の守り神として昔から信仰を集めてきたお社が鎮座する羽根山の頂上からの眺めは、まさに絶景。目の前に信夫山、眼下に早苗が揺れる田園風景を見渡せます。「道の駅を拠点に、さまざまな地域資源などが組み合わさり、交流が増え賑わいが広がり、つながっていくことを願っています。」と話す樋口さん。早速、鮮度抜群の果物と絶景をお目当てに出掛けてみてはいかがでしょう。

※地域の湧き水が溜まってできる周囲約600m、水深約3mの沼。隣接して十六沼公園が整備されています。



福島市は盆地特有の気候と風土を生かした果樹栽培が盛ん。フルーツライン（県道5号線）、ピーチライン（国道13号線）沿線には観光農園や直売所が立ち並びます。旬なくだものを使ったスイーツもせいぞろい！

※営業日時など詳しくは、各ホームページやSNSで最新の情報をご確認ください。



まるせい果樹園農家カフェ 「森のガーデン」

福島桃パフェの元祖！ほかにサクランボやブドウなどの新鮮なくだものをパフェで食べられる。

【所】福島市飯坂町平野字森前27-3

【電】024-541-4465



よつ葉のクローバー FARMERS GARDEN

フルーツライン沿いにある直売所兼カフェ。フルーツサンドやパフェ、くだものソーダなど見た目もかわいいメニューばかり。

【所】福島市大笹生字路畑27-1

【電】024-573-2110



ささき牧場カフェ

低温殺菌牛乳（63℃で30分かけて殺菌）のささき牛乳をたっぷり使い、さっぱりした味わいを活かした「ささき牛乳ソフトクリーム」が人気。佐原地区で栽培しているわさびや季節のくだものフレーバーも絶品。

【所】福島市佐原字川久保15-1

【電】024-573-7343



撮影/DMO福島市観光コンベンション協会

PEACHMAN CAFE (ピーチマンカフェ)

新鮮なくだものをたっぷり使用したメニューが季節ごとに味わえる。日光の天然氷を使ったフルーツたっぷりのフワフワかき氷、秋はリンゴのスイーツで一息を。

【所】福島市大笹生字水口50

【電】024-557-8157



旬なくだものが味わえる「ひんやりスイーツ」

農園&農家直営カフェ!!

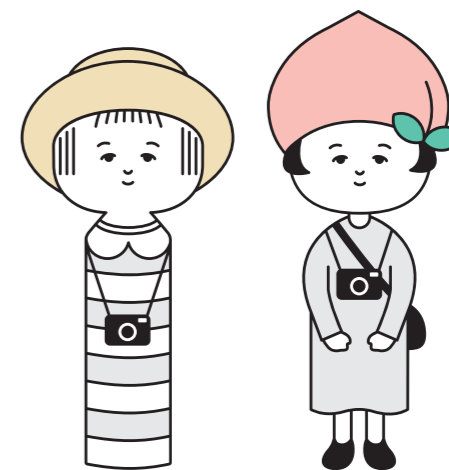


東京からたった90分でできる福島市。そこには、自然・アクティビティ・グルメ・温泉・文化など、都会にはない魅力がいっぱい。遊んでもいい、食べてもいい、癒されてもいい。あなたにちょうどいい楽しみがきっと見つかります。

今回は、暑い夏にぴったりの「食べてもいい。」をご紹介します。ご当地ならではのソウルフード、そして新鮮なくだものが味わえる農園カフェや心休まるおしゃれなカフェ…豊かな自然に恵まれたふくしまの食を味わってみませんか？



▲
ちょうどいい旅、ふくしまステイ。
についてはこちらから



ちょうどいい旅、ふくしまステイ。

突然、旅に行きたくなくなった。

早起きはしたくない。気ままで自由な旅にしたい。

大自然で遊ぶのもいい、地元の名物料理を食べるのもいい。

のんびりと温泉で癒されるのもいい。

どれも、「ちょうどいい旅、ふくしまステイ。」

東京から90分。都市と田舎のちょうどいい旅先。

夏の暑さを吹き飛ばすアツアツのソウルフード！

ふくしまの円盤餃子

ふくしまの円盤餃子、その歴史は古く、戦後、満州からの引き上げ者が飲食店を出したのが始まり。昔からサラリーマンがよく仕事帰りに利用していたため、現在でも多くの店が夕方から営業しています。フライパンの形に合わせて丸く餃子を並べてそのままひっくり返した円盤型が特徴的。野菜多めでヘルシーなもの◎。文化庁の令和3年度食文化機構醸成事業「100年フード」にも認定されています。



第2弾
食べてもいい



注文を受けてから包む円盤餃子は皮から手作り。フライパンでもっちりサクサクの食感に！お店によってその特徴も違います！



中華村伝



▲
ふくしま餃子の会
ホームページ



福島市の夏の風物詩「わらじまつり」は昭和45年にスタートしました。

長さ12mの大わらじを信夫山の羽黒神社へ奉納する「信夫三山暁まいり」に由来して始まった「わらじ音頭」は、本市の名誉市民で日本を代表する作曲家・古関裕而さんの作曲。令和元年に50回の節目を迎え、笛太鼓の生演奏・生唄のわらじ音頭へと大胆にリニューアルしました。

今年はわらじおどり、大わらじパレードを3年ぶりに開催。ダイナミックな音楽にあわせて一新した「新生わらじおどり」で福島をさらに熱く盛り上げます。



会場案内図



わらじまつり会場→の区間



令和4年度 福島 わらじまつり

日本一の
大わらじ

【本まつり】

と き／8月5日(金)・6日(土)
ところ／国道13号信夫通り

【大わらじ奉納】

と き／8月7日(日)
ところ／羽黒神社

問 実行委員会 (福島商工会議所内)
☎024-572-7118



▲福島わらじまつり
ホームページ

※新型コロナウイルス感染対策のため、信夫山方面からウイズもとまち方面へ向けての流し踊りとなります。なお感染状況により、本まつりを6日(土)のみの1日開催とする場合があります。

※当日、会場ではアルコール類の販売・提供はしません。

第44回

ふくしま花火大会

「未来へつなげる 希望のオーケストラ」をテーマに、疫病退散と市民が希望をもってコロナ禍を乗り越える活力となることを祈願し、3年ぶりとなる花火大会を開催します。

当日は、連続テレビ小説「エール」の放映を契機に交流が深まった愛知県豊橋市の手筒花火と福島の上上花火が夏の夜空を彩ります。

と き／7月30日(土) 午後7時30分から(20分程度)
※荒天時は31日(日)に順延。

ところ／信夫ヶ丘緑地(阿武隈川・松川合流地点の河川敷)、
信夫ヶ丘球場

※新型コロナウイルスの感染状況により、開催内容を変更または中止とする場合があります。

※当日、会場ではアルコール類の販売・提供はしません。

問 実行委員会(商工業振興課内) ☎024-525-3720



市民フォト・ふくしま夢通信

2022年7月1日発行

2022年7月号 No.49

ふくしまチャンネル

fukushimacity 福島市



編集発行 福島市役所 広聴広報課

〒960-8601 福島市五老内町3-1
☎024-525-3710 FAX024-536-9828
E-mail:kouhou@mail.city.fukushima.fukushima.jp

夢通信
バックナンバーは
市ホームページ!



表紙紹介

こだわりのスイーツで一息

県内の“おいしい”が集う道の駅ふくしま。“食”の他にも、幅広い世代の方々に楽しんでいただける仕掛けが盛りだくさん! 地域振興の拠点として、福島ならではの魅力を発信していきます。

※次号は2022年10月発行予定です。